

『図説 建築材料』(第1版第1刷)お詫びと訂正

本書に以下の誤りがございました。読者の皆様にお詫び申し上げますとともに、以下に訂正いたします。
(2021.6.10 学芸出版社編集部)

p18、図 1.17、図タイトル

- 誤) 木目の名称
正) 柰目の名称

p50、本文右段、1) めっき、2 行目

- 誤) ...によって表面を連続的に...
正) ...によって表面に連続的に...

p19、本文右段 9 行目

- 誤) ...変形しにくいとされている。
正) ...変形が進まない。

p60、表 4.1、アルミネート相の化学組成

- 誤) $3\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$
正) $3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$

p23、「知っておきたい」

「ちなみに」以降は下記が正しい。
正) 値に幅はあるが、おおよそヒノキは 11kN/mm^2 、スギは 7kN/mm^2 である。
なお構造計算において、炭素鋼は 205kN/mm^2 、建築構造用ステンレス鋼は 193kN/mm^2 、アルミ合金は 70kN/mm^2 とする。

p62、解答(1)

誤) 水を加えることで固まるが、水中では固まらない性質を気硬性、大気中や水中でも固まる性質を水硬性と言う。
正) 水を加えることで固まる性質を水硬性、大気中で固まる性質を気硬性と言う。

p42、図 3.2、参考文献表記の位置

- 誤) 「図 3.2 高炉」の後
正) 「(b) 内部」の後

p63、本文右段 8 行目

- 誤) hardened concrete
正) hardened concrete

p47、表 3.2、参考文献

- 誤) 3)
正) 2)

p65、本文左段下から 2 行目

- 誤) 計画使用期間
正) 計画供用期間

p47、図 3.10、図中文字(「主な製品」)

- 誤) 鉄矢鉄
正) 鋼矢板

p67、本文左段最終行

- 誤) 表面吸水率
正) 表面水率

p49、本文右段 1 行目

誤) なお、SN 材は次のような記号で表される
正) なお、SN 材は左下に示すような記号で表される

p67、本文右段 6 行目

- 誤) 絶対密度 = $\frac{\text{絶対状態の質量}}{\text{絶対状態の体積}}$
正) 絶対密度 = $\frac{\text{絶対状態の質量}}{\text{表乾状態の体積}}$

p49、図 3.13(a)、図中文字

- 誤) ウエブ
正) ウェブ

p67、本文右段 9 行目

- 誤) 「単位容積重量」
正) 「単位容積質量」

p67、本文右段 10 行目

正)「単容重」と略されることもあ
る)を削除

p67、本文右段 15～16 行目

誤)実績率
正)実積率

p67、図 5.12、コーン上部の開口部の寸法

誤) 35mm
正) 38mm

p70、表 5.5、右端

誤) C/%
正) C×%

p70、図 5.14、参考文献

誤) 参考文献 1 を参考に作成
正) 参考文献 6 を参考に作成

p72、図 5.17

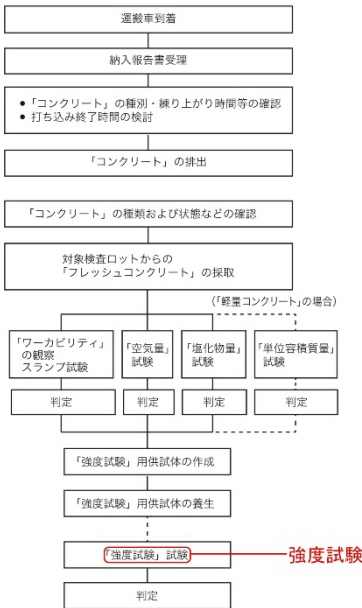


図 5.17 生コンの受け入れ検査の流れ 8
(参考文献⑥を参考に作成)

p77、図 5.36、図中文字

誤) 中性子の進行
正) 中性化の進行

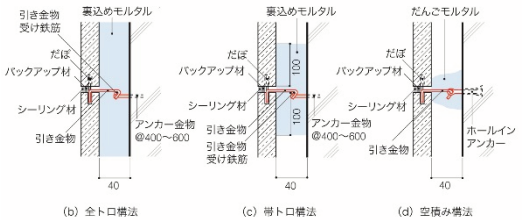
p79、図 5.45、提供者名

誤) カクケン
正) カンケン

p91、表 6.7、表見出し

誤) ショアー硬度
正) ショア硬度

p92、図 6.16、金物追記



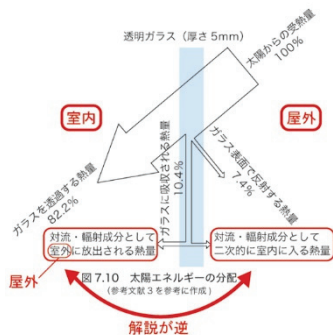
p101、図 7.4 (a) 図中文字

誤) 吹き棒の先につけた種になる溶融したガラスを先につけて膨らませ、...
正) 吹き棒の先につけた種になる溶融したガラスを膨らませ、...

p101、図 7.4 (c) 図中文字

誤) 溶融した...器具を鎮めると、...
正) 溶融した...器具を沈めると、...

p105、図 7.10、図中文字



解説が逆

誤) 廃棄
正) 排気

p114、本文右段、「3. その他の努力」

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

3 その他の努力

「化学物質審査および製造の規制に関する法律（化審法）が制定されている。この法律は、過去の健康被害や公害の発生についての反省から設けられた。プラスチックを製造する側では、モノマーの安全化に努めるとともに、その安全性を周知するために「製品安全データシート（MSDS）」を作成してきた。

また、添加剤の安全性についての審査、燃焼性の検査、環境ホルモンについての検査、~~製造責任に~~
~~その検査~~ 製造物責任についての検査などが行われている。

現在は「MSDS」に替わり、「安全データシート(SDS)」が作成される。

追記

p115、解答(5)

誤)・MSDS の作成
正)・SDS の作成

p138、解答(1)

誤) 11 章 2 左官材料の項を...
正) 11 章 2 左官材料の種類を...

p140、図 12.4、図タイトル

誤)(a) 丸瓦
正)(a) 本瓦

p156、本文左段「6 マイナスイオン発生壁紙」10 行目

誤) なお、マイナスイオン発生壁紙は
正) なお、マイナスイオンの発生機構は

p159、参考文献<第1章>

正) 1) と 18) が逆

p159、参考文献<第5章>、1)

誤) 日本建築学会『コンクリートの調合設計・調合管理・品質検査指針案・同解説』日本建築学会、1976
正) 日本建築学会『コンクリートの品質検査指針案・同解説』日本建築学会、2015

p160、参考文献<第5章>、10)

正) 4) と重複のため削除